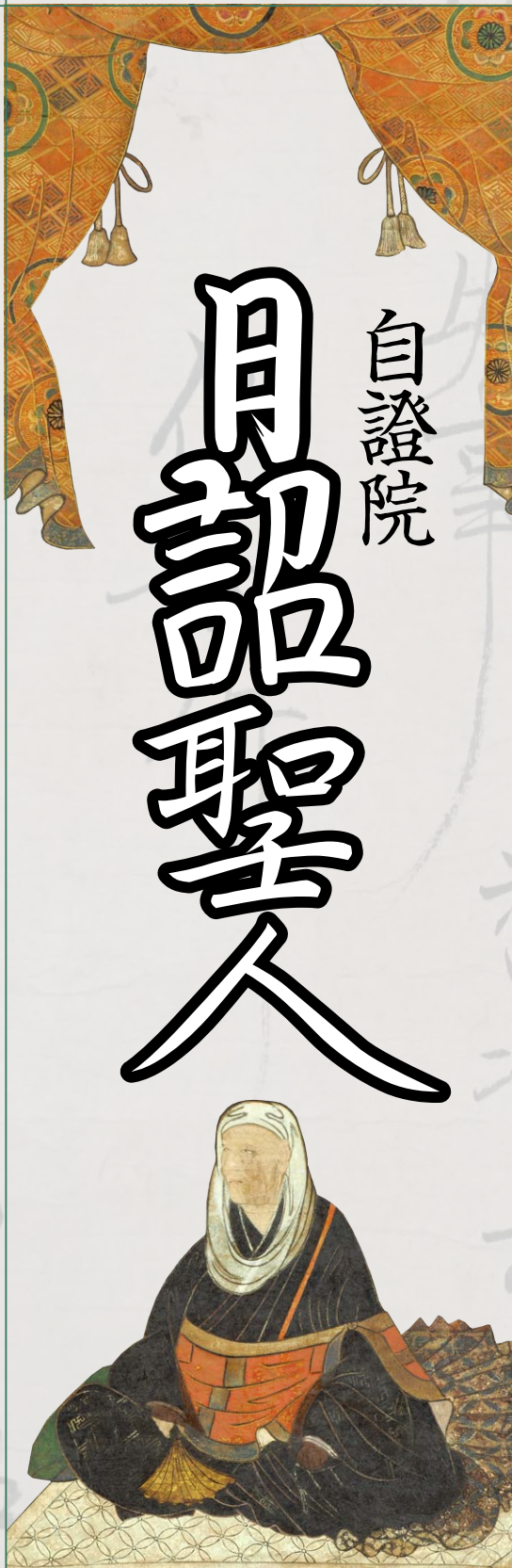


池上本門寺靈宝殿

特別展

自證院

月詔聖人



小西檀林第二代化主、池上本門寺・比企谷妙本寺
両山第十四世、自證院日詔聖人（永禄12年・1569〜元
和3年・1617）の第四〇〇遠忌を記念し、関係寺院
に伝わる御靈宝を通してその御生涯を辿る

会期

2016年
11/3(木) ▶ 12/25(日)

開館日

金・土・日・祝日
10時～16時

拝観料

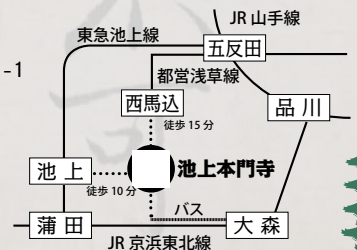
300円

会場

池上本門寺靈宝殿

TEL 03-3752-2331 / 大田区池上 1-1-1

電車／東急池上線「池上駅」から徒歩10分、都
営浅草線「西馬込駅」から徒歩15分
バス／JR大森駅から池上駅行「本門寺前」下車、
徒歩5分
車／国道一号線（第2京浜）「本門寺入口」交差
点より、参拝者用駐車場有



両山第十四世 自證院日詔聖人

展示構成

1. 両山晋董以前

日詔聖人は永禄12年(1569)に若狭国(現在の福井県西部)に生まれた。出家の場所や時期、修学の状況などは判らないが、早くに関東に下り、下総国飯高に開設されていた飯高談所において、化主の蓮乗院日尊聖人(後の両山第13世)に師事した。日詔聖人は、学匠として名を成し、小西檀林に請じられ、化主を10年余り勤めている。



日詔聖人筆曼茶羅本尊
慶長4年(1599) / 当山蔵

2. 両山晋董

日詔聖人は師である日尊聖人の退隱を受けて、両山の貌座に昇った。慶長七年末頃のことと思われる。両山晋董後、日詔聖人は第12世日惺・第13世日尊両代を継承して京都妙覚寺の門徒と交流を深めるとともに、日惺聖人が当山に移住して以来の課題となっていた伽藍整備に意を尽くしていった。



日詔聖人筆曼茶羅本尊
慶長9年(1604) / 愛知・本住寺蔵

3. 本門寺五重塔の建立

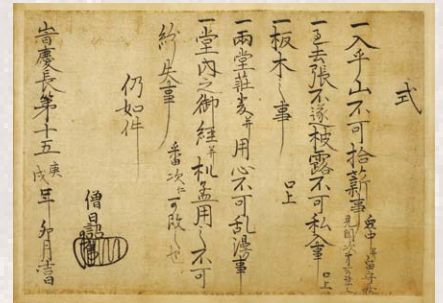
本門寺五重塔は、幕府二代将軍徳川秀忠の乳母であった正心院日幸尼(岡部局)の発願により建立寄進された。五重塔の作事は慶長12年(1607)から翌13年にかけて行われた。日詔聖人代の最も大きな事蹟である。



本門寺五重塔 慶長13年(1608)年 / 重要文化財

4. 寺門の経営と伽藍の整備

日詔聖人は五重塔建立以降も当山の本堂・御影堂の屋根葺替や客殿の建立など、伽藍整備を継続的に行うとともに、門下寺院の統制にも務めた。また、関東日蓮宗を代表する一人として公儀への対応も行った。



比企谷妙本寺法度
慶長14年(1609) / 当山蔵

主な関連寺院



飯高談所跡・妙福寺(千葉県匝道市)



小西檀林跡・正法寺(千葉県大網白里市)



池上本門寺(東京都大田区)



比企谷妙本寺(神奈川県鎌倉市)



常住寺(埼玉県さいたま市)

池上本門寺・比企谷妙本寺両山第14世自證院日詔聖人は、飯高檀林開山で後に両山第13世となる蓮乗院日尊聖人に師事し、その後小西檀林二代化主に請じられました。当山に晋董してより在山16年の間には、大坂宗論や慶長法難といった本宗を取り巻くきびしい状況の中、諸堂の修復等に邁進し、伽藍の整備に多くの功績を残しました。現存する五重塔の建立は聖人代の最も大きな業績です。また、聖人は当時の関東日蓮宗を代表する人物として、日蓮宗門史上に注目されるばかりではなく、近世檀林教学草創期に盛んに論じられた観心論争の端緒を成した大学匠としても知られています。

本年は、日詔聖人が元和三年四月十九日に御遷化遊ばされてから、四百年の遠忌にあたります。この記念として、当山や関係寺院に伝わる御霊宝を通して、御生涯をお偲びする本展を開催して、その御鴻恩に報じたいと思います。